
◇ ◇ ◇

年々盛り上がる国際保健福祉機器展

平成7年10月24日から26日までの3日間、第22回国際保健福祉機器展が東京晴海の東京国際見本市会場B、C号館において開催されました。入場者数は連日3万人を越え3日間の総計が10万6521人にもなった。出展社数も年々増加し前年の276社（海外74社）から362社（海外102社）となっている。

技術研究所では、昨年に引き続き下肢障害者のためのアームサイクル（上肢駆動型自転車）を出展した。今年は、3輪普及タイプの2種類以外に2輪タイプの2種類についても初めて展示した。さらに、当ブースでは、車いすの評価試験等に関する相談コーナーを設け、関係者への対応を図ったところ、前年同様当ブースへは連日多数のメーカーや福祉関係者等が訪れた。

また、開発されたアームサイクルの3輪タイプと2輪タイプに対する潜在的な需要を把握する目的で、当ブースへの見学者を対象に直接聞き取りによるアンケート調査を実施した。

その結果、特殊な乗り物ではあるが、安定感のある3

輪タイプに、障害者や福祉関係者が興味を持っている。また、購入してもよいという希望価格は、20～30万円前後であることがわかった。その他、重度障害の人達からは移動に利用することができる乗り物を開発して欲しいという要望が挙がっていた。今後は、障害者がアームサイクルを通じて健常者と共にサイクリングを楽しむことができるようにするために、コスト削減と、商品化へ向けての指針を製造メーカーに働きかける必要がある。



技術研究所ブースにて

技研ニュース No.149
(1995年12月20日発行)

ACQUINON



この技研ニュースは、
競輪の補助金を受け
て作成しました。

発行所・財団法人 自転車産業振興協会 技術研究所

〒484 愛知県犬山市宇新川1番の6 電話(0568)67-0437
FAX (0568)68-1347

大阪支所 〒590 大阪府堺市戎之町西1丁3の3 電話(0722)38-8521
自振協本部事務局 〒107 東京都港区赤坂1の9の3 電話(03)5572-6409